

TRAnsform

Thomson Reuters RCEP Assessment Services



企業向け RCEP 評価サービス

戦略的データに基づいて最大限の関税軽減を

サプライチェーンの混乱により多くの企業はコスト削減や市場競争力の強化といった課題に直面しています。サプライチェーンの回復力を高めることが求められている今、企業はその課題解決の重要ツールとしてFTAを戦略的に活用しています。FTAは関税を免除・軽減し、サプライヤーやパートナーのネットワーク拡張には強力な手段ですが、一方で内容が難解で運用が難しい一面があります。

アジア太平洋地域拠点を置く企業であれば、域内で締結されたFTA数が数倍に増加していることを実感されていることでしょう。刻々と変化する貿易協定の環境下において、御社が入手しているデータと実際の運用レベルはFTAを最大限に活用するのに十分でしょうか。

2022年に発効するRCEPに備え、FTA最適化戦略を強化するには、既存協定の詳細を精査し、ビジネスへの潜在的な影響を評価することが必要です。しかし手作業による調査プロセスが、包括的評価の妨げになっていることが非常に多いのが現実です。不完全なデータやエクセルシート、時間のかかるFTA評価に頼らず、信頼性が高く、コスト効率が良く、包括的な評価が可能な方法があります。

この機会に是非、Thomson Reuters RCEP Assessment(TRAnsform)サービスをご利用ください。

TRAnsfrom とは

Thomson Reuters RCEP Assessment(TRAnsform)は、RCEP加盟15カ国に関わる既存のFTAを評価するため、戦略的かつ信頼性の高いインサイトを企業に提供、FTA評価プロセスを簡素化し、迅速化いたします。これにより、費用対効果に優れたタイムリーな方法でFTAに関する選択肢を把握し、強固な社内FTA戦略を構築することができます。TRAnsformは、当社独自に開発したONESOURCE Global Trade Contentを用いて最新の規制コンテンツを活用しながら、多様なFTA活用の選択肢と信頼できるインサイトをご提供します。当社のデータベースは210以上の国・地域と貿易協定における450以上の原産地規則を網羅しています。

TRAnsformの独自の評価プロセス

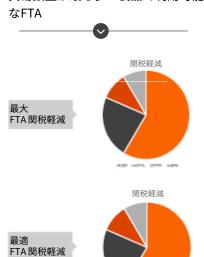
1 特定

2 評価

3 報告

サプライチェーン各社のルートを調査、製造拠点、原産 国、輸入国、製品データから を貿易ルート別、製品組み合 わせ別に利用可能なFTAを特 定します。 取引相手情報に基づき最大の利益をもたらすFTAを評価。FTA分析は以下の2分野に分類されます。

- 最大FTA関税軽減 輸入価格に基づき最も高い関税削減 効があるFTA
- 最適FTA関税軽減 貿易数量が最も多い製品で利用可能 なFTA



もはや手作業によるFTA分析に数カ月もかける必要はありません。FTAに関する効果的な決定を下す際に必要なデータはすべてひとつのの報告書に盛り込まれます。





貿易ルートシナリオの詳細	
輸出国	5
独自のSKU数	1264
独自のHSコード	54
貿易ルート数	52
HS準拠貿易ルート組み合わせ数	175
RCEP域内	135
RCEP域外	40

信頼のコンテンツで FTA戦略を強化

強靭なサプライチェーンには優位なFTA戦略が前提条件となります。RCEP評価により、 既存の社内戦略の強化、また将来の強力な戦略を構築するのに役立ちます。



競争力強化とサプライチェーンの多様化を実現

本評価サービスにより、どの拠点が最大の利益をもたらすか判断し、関税削減最大化が可能になります。



わかりやすい報告書で、RCEPや今後の協定を最大限に活用

データに基づいたインサイトと複数のシナリオがあれば、サプライチェーン拠点に基づき、FTAオプションを検討し、最適な選択をすることができます。また明解な報告書により、物流、サプライチェーン、貿易部門の専門家の方にも評価結果をご活用いただけるとともに、RCEPに関する意思決定を迅速化することが可能です。

この機会に是非、TRAnsformサービスをご利用ください。